

平成 28 年度文部科学省 「課題解決型高度医療人養成プログラム」

『慢性の痛みに関する領域』三大学合同シンポジウム ～名古屋市立大学・三重大学・鈴鹿医療科学大学～

1. 日時 平成 30 年 3 月 17 日 (土) 14:00 ～ 16:00
 2. 会場 名古屋市立大学 桜山キャンパス 医学部研究棟 11 階 講義室 A
 3. 内容
 - ① 開会の辞 名古屋市立大学 精神・認知・行動医学 教授 明智 龍男
 - ② 三重大学・鈴鹿医療科学大学合同
「地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成事業」報告
 - 事業全体の概要および地域での慢性疼痛チーム医療をシミュレーションする
体験重視のワークショップ形式集中授業
三重大学 麻酔集中治療学 特任助教 臨床心理士 上條 史絵
 - 慢性疼痛の病態生理、診断と治療、チーム医療的アプローチを学ぶ講義形式の
コアコース～遠隔講義を含めて～
鈴鹿医療科学大学 看護学部 准教授 中村 喜美子
 - ③ 名古屋市立大学 「慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成事業」報告
 - 統合的慢性疼痛管理手法の体系化を目指した”いたみセンター”の開設
名古屋市立大学 麻酔科学・集中治療医学 准教授 杉浦 健之
 - 慢性痛に対する新世代認知行動療法
名古屋市立大学 精神・認知・行動医学 特任助教 近藤 真前
 - ④ 総合討論
 - ⑤ 特別講演
 - 慢性疼痛と社会、脳科学と行動変容、教育の必要性
滋賀医科大学 医学部附属病院ペインクリニック科病院教授 福井 聖
 - ⑥ 質疑応答
 - ⑦ 閉会の辞
鈴鹿医療科学大学 副学長 鎮西 康雄
- 【総合司会】名古屋市立大学 麻酔科学・集中治療医学 教授 祖父江 和哉

4. 参加人数 37 名

わが国では、成人の 4.4 人に 1 人が慢性的な痛みを持っておりませんが、治療が難しく、患者の満足度が低いいため通院を中断し、痛みを抱えながら生活している人が多いのが現状です。「名古屋市立大学」及び「三重大学・鈴鹿医療科学大学」はこうした慢性疼痛に対応できる人材を幅広く育成することを目的に事業を開始し、平成 28 年度には文部科学省の「課題解決型高度医療人材養成プログラム」にそれぞれ採択されました。

採択から二年度を経たこの度、より一層の事業発展を目指し、各大学の取り組みを共有する機会として平成 30 年 3 月 17 日（日）に三大学合同シンポジウムを名古屋市立大学医学研究棟 11 階会議室にて開催しました。

三重大学・鈴鹿医療科学大学より「慢性疼痛の病理生理、診断と治療、チーム医療的アプローチを学ぶ講義形式のコアコース」「地域での慢性疼痛チーム医療をシュミレーションする体験重視のワークショップ形式集中授業」の講演を、本学より「統合的慢性疼痛管理手法の体系化を目指した“いたみセンター”の開設」「慢性痛に対する新世代認知行動療法」の講演を行いました。また特別講演として他大学採択事業のメンバーでもある滋賀医科大学医学部附属病院ペインクリニック科の福井聖教授より「慢性疼痛と社会、脳科学と行動変容、教育の必要性」についてご講演頂きました。

当日は学生含む 37 名にご参集いただき、人材育成事業を広く多くの方に知ってもらえるとても貴重な機会となりました。

